

「絵の前に立ち、あるいは絵の中に入り、感じたことを小さな言葉に。」（大高翔）



中川一政《椿》1978年

中川一政作品からイメージを膨らませ、俳句を詠んでみませんか。

女流俳人・大高翔さんを講師に迎え、美術館内を吟行して俳句会を開催します。

初心者の方でも大丈夫です。絵画と文学が融合する豊かなひと時をどうぞお過ごしください。

令和8年

2月7日(土) 13:30～15:30

ところ：松任中川一政記念美術館
および松任ふるさと館

定員：20名(申込順)

会費：1,000円(※別途入館料200円要)

申込開始：[一般] 1月10日(土)～
[友の会・博遊会会員] 1月4日(日)～
電話または電子申請でお申込みください。
白山市電子申請サービスはこちら▶



【お問い合わせ／お申し込み】

白山市立松任中川一政記念美術館

電話／FAX：076-275-7532[月曜休館]

〒924-0888 白山市旭町61-1(松任駅 南口横)

美術館句会

俳人・大高翔さんをお迎えして

中川一政バースデイウィークイベント



大高翔 おおたかしょう

俳人。藍花俳句会主宰。俳人協会幹事。

JAL財団「世界子どもハイクコンテスト」審査委員長など。徳島県に生まれ、13歳より作句。現在、句作を中心に、エッセイの執筆、校歌作詞、また、ライフワークとして、子供たちや初心者向けの俳句指導、海外での俳句ワークショップなどに取り組んでいる。